

2015年6月30日
砺波市
イオン株式会社

砺波市とイオン株式会社との「地域貢献連携協定」締結について

本日、富山県砺波市（市長：夏野 修）とイオン株式会社（代表執行役社長：岡田 元也）は、「地域貢献連携協定」を締結しました。

この度の協定の目的は、砺波市とイオンが、緊密な相互連携と協働による活動の推進により、地域の様々な課題に迅速かつ適切に対応し、市民サービスの向上、地域の一層の活性化を図ることです。

本協定により、砺波市とイオンは、地域の暮らしの安全・安心や災害対策、伝統文化の継承と観光情報及び観光振興に関する事、庄川と散居景観の自然豊かな保全に向けた取り組み関することなど6項目について両者で協力し、さまざまな取り組みを進めます。

本協定の取り組みに先行して、イオンは、チューリップが咲き誇る春の「チューリップタワー」の写真をデザインした「となみチューリップWAON」を、2015年4月23日より発行しています。

砺波市は、チューリップ球根の生産出荷量日本一を誇ります。市の花にも制定されているほか、市章や市のシンボルキャラクターもチューリップにちなんでいます。

イオンは、電子マネーを通じて地域社会に貢献したいという思いのもと、2009年からご当地WAONの発行を開始しました。「となみチューリップWAON」を含め、これまで106券種が発行されています。当該WAONの利用金額の一部をイオンが自治体などに寄付し、地域の環境保全や観光振興などにお役立ていただく仕組みが、「日々の買物を通じて社会貢献したい」というお客さまから高い評価をいただいています。

「となみチューリップWAON」についても、全国のイオングループ店舗やファミリーマート、マクドナルド、吉野家など全国約21万7000箇所のWAON加盟店でお支払いされた金額の一部をイオンが砺波市花と緑と文化の財団に寄付し、砺波市の花と緑のまちづくりにお役立ていただく予定です。

本協定を機に、砺波市とイオンはこれまで以上に連携し、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に連携して取り組んでまいります。

記

【地域貢献連携協定の概要】

- (1) 地域の暮らしの安全・安心、災害対策に関する事
- (2) 伝統文化の継承と観光情報及び観光振興に関する事
- (3) 庄川と散居景観の自然豊かな保全に向けた、取り組みに関する事
- (4) 地域産業の活性化連携に関する事
- (5) 地域活性化や住民サービスの向上に関する事
- (6) ICカードの活用等による地域振興に関する事

以上

【「となみチューリップWAON」の概要】

発行開始：2015年4月23日（木）

販売場所：近畿・北陸エリアの総合スーパーの「イオン」など、88店舗で販売しており、今後全国に順次拡大予定

カード販売目標：初年度3万枚

発行手数料：1枚300円（税込み）

チャージ可能金額：上限5万円（1回あたりのチャージ金額は2万9,000円）

【カードデザイン】



カード表面



カード裏面

【WAONの概要】

累計発行枚数：約5,010万枚（5月末現在）

年間利用金額：約1兆9,300億円（2014年度）

利用可能箇所：約217,000箇所（5月末現在）

【砺波市とイオン株式会社との「地域貢献連携協定」の背景について】

2015年7月14日オープン予定の「イオンモールとなみ」が立地する中神土地区画整理事業の新たなまちづくりのコンセプトである「快適で元気な やすらぎのまち 中神」に賛同し、緑あふれる地域環境の中に暮らす皆さまの日々の生活がもっと「快適」に、住まう皆さまがもっと元気になる、「やすらぎのある」まちづくりに積極的に寄与してまいります。